

第9回総務常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年11月12日（火曜） 午前9時30分 開会					
	休憩 10:21-10:30 11:07-11:17					
	午前11時10分 閉会					
会議場所	役場3階 第1委員会室					
出席委員 氏 名	委員長	藤森善一郎	委員	中野 武彦	副議長	柴田 正博
	副委員長	青木 定之				
	委員	梅津 伸子				
	委員	西尾 一則				
欠席委員 氏 名						
説明等に 出席した 者の氏名	学校教育課長	松浦智幸				
	課長補佐	坂口勝己				
	学校教育係長	高瀬義則				
事務局職員	事務局長	西科 純	次長	剣持和裕		

『会議に付した事件と会議結果など』

- 1 開 会
- 2 議 件

(1) 調査事項

- ア 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要について 資料1
- イ 貸切バスの新たな運賃・料金制度について 資料2
- ウ 芽室町小・中学校児童生徒と学級編制について 資料3
- エ 芽室西中学校体育館ギャラリー天井の改修について 資料4

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について
- (2) その他

4 閉 会

2 議 件 (1) 審査事項

- ア 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要について 資料1

- ・松浦課長から説明後、質疑を行う。
- ・梅津委員： 今回の改正は、必ずしも良い方向と思わない。しかし、国会において教委制度の大事な点が守られたと考えている。地方分権の立場からは、教科書選定問題等介入があるが、本町は独自の視点が守られていると考えるか。

- ・松浦課長： 一定の通知は、国からもあるが教科書選定、教員の人事基準等などに長は関わらず、調整事項とはならないとされている。当然、内容によって協議にはなる。
- ・梅津委員： 首長からの独立性があるとはいえ、首長の教育に対する考え方が持ち込まれることはないか。
- ・松浦課長： 資料にあるとおり、レイマンコントロールは変わらない。教科書選定、人事方針の考え方はこれまでと変わらない。
- ・梅津委員： 住民の意思の構成は、大事である。改正のきっかけは「いじめ問題」からである。本町は、教育委員会として現場の教職員等の把握は行っているか。
- ・松浦課長： 学校現場での学校長・教頭・教員の取り組みについては、その都度、把握している。保護者などを含めた説明会、通学区域等を含めても協議を進めている。
- ・梅津委員： 教育委員会は、学校現場、保護者、PTA 役員と協議を行っているか。
- ・松浦課長： 学校長・教頭とは意見交換する機会が多い。教育振興会で一般の教員と懇談する機会がある。保護者は PTA 以外でも学校を通じてケースを通じて役員、全保護者と協議する場はある。
- ・梅津委員： 教員の声を聴く機会はあるか。
- ・松浦課長： 今までも受けているし、今後も方針は変わらない。
- ・梅津委員： 学校の現場で出された問題は、教育委員会に伝わっているか。
- ・松浦課長： 案件については、教育委員会議、教育委員協議で協議される。
- ・梅津委員： 迅速に対応することが必要と考えるが。
- ・松浦課長： 把握していくことは妥当な視点であり、これからもそういう視点で進める考えである。
- ・中野委員： 資料では、これまでの教育委員会の課題について5点ほど書かれているが、本町にはこうした課題には当たらないか。
- ・松浦課長： 資料は、全国的な教育委員会の課題である。本町にはこうした課題とならないよう努めていきたい。
- ・西尾委員： 本町の制度はいつから変わるか。
- ・松浦課長： 現在の教育長は平成 28 年 9 月 30 日が任期である。したがって平成 28 年 10 月 1 日からとなる。
- ・梅津委員： 教育大綱については、自治体に義務化されるようだが、基本計画は。
- ・梅津委員： 教育大綱については、教育振興計画に位置付けている。
- ・青木委員： 教育行政執行方針は、どうなるか。
- ・松浦課長： 今後、首長部局と協議をしていく。

イ 貸切バスの新たな運賃・料金制度について

資料 2

- ・松浦課長から説明後、質疑を行う。
- ・梅津委員： 燃料費はどう反映されるか。
- ・松浦課長： 事業者の立場からは影響があると思うが、どのように反映されるかは説明を受けていない。

- ・中野委員： 上限、下限の考え方は理解できない。なぜ設定されているか。
- ・松浦課長： 説明を受けていない。

ウ 芽室町小・中学校児童生徒と学級編制について

資料3

- ・松浦課長から説明後、質疑を行う。
- ・中野委員： 財政面の問題ではなく、町単独で積極的に進めるべきである。必要性などを固めていくべきと考えるが。
- ・松浦課長： 少子化に向けて子どもたちの教育環境を整えていきたい。教育委員からも推進を唱えている。
- ・梅津委員： 国が40人学級に戻すなどの話もある中で、本町の方針は英断と思う。教員の面からも、臨時的ではなく正規職員化を図るべきではないか。
- ・松浦課長： 全国どこでも教育水準を一定に保つために十分考えられるが、正規職員化以前に、国が義務教育の制度を安定させることが第一であろう。正規職員化にも課題がある。
- ・青木委員： 上美生小学校の存続は。
- ・松浦課長： 上美生小学校は、学校配置計画において5年で見直しをするなかで、上美生中学校で単式が見込まれる以上は小学校も存続する。中学校においても維持できる見込みである。
- ・青木委員： 清水町のように学級編成の特区を考えているか。
- ・松浦課長： 考えていない。あくまでも弾力的な編成を考えている。

エ 芽室西中学校体育館ギャラリー天井の改修について

資料4

- ・松浦課長から説明後、質疑を行う。
- ・中野委員： 国の補助はあるか。
- ・松浦課長： 当初計画にはなく、町単独となる。
- ・中野委員： 冬期休暇中の工事となろうが、閉館となるか。
- ・松浦課長： アリーナ全体とはならず、閉館とはならない。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・正副委員長に一任する。

(2) その他

- ・事務局長： 11月16日の議会フォーラムIについて、参加PRをお願いしたい。以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----

平成26年11月12日

総務常任委員会委員長 藤森 善一郎